

# 委員会活動計画書

委員長 城島 哲子

<b>【委員会名】</b> 40周年記念事業運営委員会 (特別プロジェクト)	
<b>【メンバー】</b> ◎城島哲子 (奈良県立医科大学)    ○神庭純子 (西武文理大学)    岸恵美子 (東邦大学) 小松雅代 (奈良県立医科大学)    齋藤泰子 (秀明大学)    澤井美奈子 (湘南医療大学) ¥坂東春美 (奈良県立医科大学)    堀内沙央里 (奈良県立医科大学) 村嶋幸代 (大分県立看護科学大学)	
◎委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、( )所属名、50音順	
<b>【活動方針】</b> 平成32年6月6日に開催する40周年記念式典・祝賀会の企画運営と、記念誌「40年のあゆみ」の発刊を行う	
<b>2019年度</b>	
<b>達成目標</b>	1 40周年記念式典・講演会・懇親会の企画・運営 2 40周年記念誌「40年のあゆみ」の編集と発刊
<b>活動計画</b>	1. 記念式典・講演会・懇親会 1-1 会場確保 (総会、式典、懇親会) 1-2 記念式典招待者の検討 (例 看護協会、日本公衆衛生協会、厚労省、文科省、) 1-3 記念講演の演者の推薦と依頼 1-4 プログラムと担当者の配置  2. 40周年記念誌の編集と発刊 2-1 発刊のことば 現会長 2-2 寄稿文の依頼 (例 厚労省看護課長、文科省医学教育課長、日本看護協会会長、全国保健師長会会長、日本公衆衛生看護研究会会長、全国保健所長会会長、財団法人日本公衆衛生協会理事長 ) 2-3 歴代会長 (第10代 山崎京子、第11代 金川克子、第12代 村嶋幸代、第13代 佐伯和子 ) 2-4 組織・と活動の変遷 加入率・組織と運営体制 2-5 活動の経過 「総会」「理事会」「委員会」「ブロック活動」について、30周年記念誌に掲載された以降を集約する 2-6 教育課程の変遷 大学院への移行 (2~3名) 2-7 課程別教育の実践報告 (3~6名) 資料集 (約50頁) 編集後記